

# 地域史研究

— 尼崎市立地域研究史料館紀要 —

第 111 号 平成 23 年 9 月

## お届けします…

□今回も、バラエティ豊かな力作揃いの号をお届けします。

■巻頭の藤本論文は、中世尼崎町の成立・変遷について地理学的に考察し、『尼崎市史』第1巻をはじめとする従来の研究の修正を迫る問題提起を行なっています。続く黒田論文も、最新の発掘成果や大阪平野発達史の新知見を踏まえ、古代の国家的祭祀の場・八十嶋<sup>やそしま</sup>の位置について考察し、やはり既存研究の見直しを提案しています。

□市制 90 周年記念刊行物『図説尼崎の歴史』について、本市はこのほど園田学園女子大学のご協力を得て Web 版を作成・公開しました。設計・構築をご担当いただいた同大学の<sup>かきとう</sup>垣東弘一さんに、レポートをお寄せいただきました。

■戦後初期の尼崎市長であった阪本勝氏の次男・宣道<sup>のぶみち</sup>氏は、戦時中の特攻隊訓練により事故死しました。学友であった作家の寺内邦夫さんに、鎮魂の文章をお寄せいただきました。今回と次号の二回連載予定です。

□しばしば問い合わせがある青山<sup>よしとし</sup>幸利顕彰碑について、史料館の中村が史煙にまとめました。新着文書群を紹介する誌上レファレンスもあわせてご利用ください。